

腰神経叢

腰神経叢 (Pl. lumbalis)

- 解剖**
- D₁₂~L₄の前枝から成り、腰椎の両側の大腰筋の中にある。
- その枝は、
1. 腸骨下腹神経：第12肋間神経の下を、これと併行して前下方に走り、筋枝を側腹筋群に、皮枝を下腹部、腰部に出す。
 2. 腸骨単径神経：1の直下を併行して走り、筋枝を側腰筋群に与え、単径管を通り陰囊または大陰唇に分布。
 3. 陰部大腿神経：細い神経で大腰筋の中で2つに分れ、陰囊部(大陰唇)の皮膚及び単径部皮膚に分布する。
 4. 大腿神経：最も大きい枝である(後述)。
 5. 閉鎖神経：(後述)。

- 機能と臨床**
- 腰方形筋：腰神経叢の枝と肋間神経から支配され、腰部を横に屈曲させる。
- 外斜腹筋、内斜腹筋、横腹筋：腹壁を収縮させる。
- 腸腰筋：大腿を屈曲する。L_{2,3}から主に出た腰神経叢の枝と、大腿神経の枝から支配される。
- 外側大腿皮神経：本神経は同部の皮膚に異常感、知覚低下を来たさせる。これを大腿外側部異状感覚症(Meralgia paresthetica)という。原因は不明である。

